

岐阜県地域公共交通計画の評価について

2. 達成目標、施策実施状況に対する評価

【達成目標】

No	目標	目標値	今年度数値	目標値比	前年比
1	JR東海、名鉄の利用者数	6,699万人以上	6,138万人	92%	↗
2	地方鉄道4社の利用者数	798万人以上	766万人	96%	↗
3	広域バス路線支援事業費補助金補助対象系統の実車走行キロ当たり年間輸送人員	0.68人/km以上	0.76人/km	112%	↗
4	広域バス路線支援事業費補助金補助対象系統の利用者1人当たり県負担額	71.1円/人以下	86.8円/人	81%	↘
5	地域公共交通計画策定済み市町村数	37市町村	32市町村	86%	横ばい
6	GTFSデータ整備済み市町村の割合	100%	97%	97%	↗
7	乗合バス車両に占めるノンステップバス車両の割合	70%	48.2%	69%	横ばい
8	観光客の公共交通利用率	9.8%以上	8.5%	87%	横ばい
9	公共交通に対する県民満足度	5.5%以上	6.0%	109%	↗

【評価】

○達成に向けた取組みは着実に進められており、前年度と比較して多くの項目で達成状況が向上している。 <補足> 4については、前年度より悪化したが、燃料費・人件費等の上昇が影響していると考えられる。 5については、前年から横ばいとなっているが、現在、3市町において新たに計画策定を予定している。 6については、未整備の1市が今年度整備予定のため、整備が必要なすべての市町村で整備される予定 7については、前年から横ばいとなっている。坂が多い地域や積雪がある地域も含まれているため、ノンステップバスの導入が進みにくい状況となっているが、ワンステップバスを含めた低床バスの割合では全国平均を上回っている。

【今後の取組の方向性】

・引き続き、所要の取組みを継続していくことで、目標達成を目指す。 ・人口減少の進行による利用者減少に加え、燃料価格や人件費の高騰、運転手不足の深刻化など、公共交通を取り巻く環境は一層厳しさを増しており、持続可能な交通サービスの確保に向けた対応が必要となっている。 ・各交通事業者や市町村等が連携し、広域・地域内を含めた交通ネットワーク全体の最適化、利用促進やサービスの質の向上を図り、誰もが利用しやすい公共交通の実現に向けた取組を推進する。
--